

人権教育総合推進地域だより

令和5年8月 発行

文部科学省指定

「人権教育総合推進地域事業」

喜連川中学校区は、今年度、文部科学省委託事業「人権教育総合推進地域事業」の研究推進地域に指定されました。喜連川地区は、学校・家庭・地域社会が連携・協力した活動が活発に行われ、協力体制が充実している地域です。これまで実践してきた取り組みに「人権」の視点を取り入れることで、人権尊重の精神がより一層充実するよう目指しています。

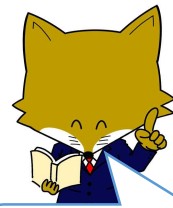
人権教育総合推進地域事業とは？

喜連川中学校区は、学校・家庭・地域社会が一体となって人権教育の研究を行う地域であるという点です。研究のためではなく、よりよい地域になるよう、子ども達が健康やかに育つように、地域の皆さんも協力をよろしくお願いします。



人権とは？

人間らしく(自分らしく)幸せに生きていくための権利です。



人権が尊重されたまじづくりのために人権感覚を磨き、人権意識を高めることが大切です！

人権感覚って？





人権が尊重されていることに気づくことも、人権が偏見や差別により妨げられたり、妨げられなくなったときに、いち早くその不合理性・不当性に気づく感覚(センス)のこと

人権意識って？

豊かな感性を基盤に、磨かれた人権感覚と人権学習で得た知識・技能が一体化して、解決しようとする思いやり、対応しやすさなどにより

人権感覚を磨き、人権意識を高めるためには・・・人権に関する知識や技能を身につけることが大切です！

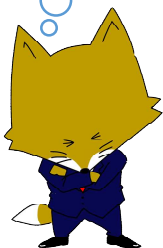
例えば・・・

<p>勝手な思い込みで、偏見をもっていたかもしれないな・・・</p> 	<p>日本にいる外国人労働者は出稼ぎか一時的な滞在者でしょう？</p> 
<p>これからは決めつけず、コミュニケーションをとりながら、「その人」のことを知っていこう！</p> 	<p>人権学習会にて・・・</p>  <p>日本にいる外国人労働者には・・・</p>

人間は誰も偏った見方や考え方をしてしまうことがあります。大切なのは、それに気づくように様々な人権課題について学んだり、自己を振り返ったりすることです。

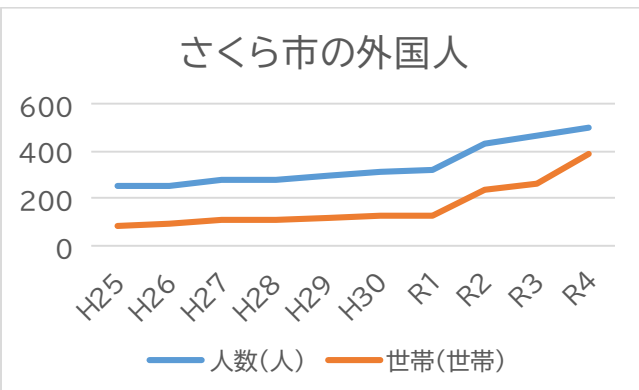
人権意識の高まり

また多くの人権課題があるんだな・・・裏面でいくつかの人権課題を紹介します！



知ろう!人権課題

外国人の人権



市内で生活する外国人の方は年々増加傾向にあり、今後も増えることが予想されます。

外国人であることを理由に、就職やアパートへの入居を断られる問題や、特定の民族や国籍の人に対し危害を加えたり、差別的言動をするような問題が起きています。

外国人の人権を守るためには、文化や言語、宗教、生活習慣等の違いを正しく理解し、互いに尊重することが重要です。

インターネット上の人権

インターネット上での誹謗中傷、名誉やプライバシーの侵害、偏見や差別を助長するような情報の発信などの問題があります。その中には、軽い気持ちで書き込んだものも多く含まれています。

個人の名誉やプライバシー、インターネットを利用する際のルールやマナーについて正しく理解することが必要です。SNSの使い方などについて、家族や友人と話し合ってみるのもいいですね。



インターネットと人権について、考えてみましょう!



刑を終えて出所した人やその家族の人権

刑を終えて出所した人やその家族への偏見によって、就職差別や住居確保が困難である等の問題が発生しています。喜連川には少年院、社会復帰促進センターがあり、更生プログラムや職業訓練等が行われています。更生するためには、本人の強い意欲と共に、周囲の人々の理解と協力が必要です。円滑な社会復帰を実現するために、偏見や差別を解消していきましょう。

11月

人権に関する「学習会」を実施!

【テーマ】

- ① 「人権ってなあに?」
- ② 「外国人の人権」
- ③ 「人権を考える交流会」

詳しくは、11月の広報さくらをご覧ください。皆さんで楽しく人権について学びましょう!!

7/30

人権講演会「命の授業」を開催

講演会をとおして、一人一人がかけがえのない存在であり、共に認め合いながら精一杯生きていくことの大切さを改めて考えることができました。参加者からは、「心が元気になった。」「自分も誰かのドリー夢メーカーになりたい。」などと感想をいただきました。

